



かがやく子

河城小学校だより
令和6年度4月号
令和6年4月12日

【重点目標】 「やってみよう ～自分から 自分たちで～」

招魂山の桜の木も、グラウンドの桜の木も、枝いっばいに花を咲かせ河城小にも春がやってきました。

4月5日(金)の午前に1年生35人を迎え入学式を、午後には2～6年生で始業式を行い、全校児童234人で令和6年度をスタートしました。



1年生 初めての教室で

～令和6年度 合言葉は「やってみよう」～

河城小の子供たちは、素直で優しく、男女、学年等の隔てがなく誰とでも仲良くできます。この良さを生かしてよりよい集団づくりを進めながら、子供たちの中にある向上心や追求心を引き出し、積極的に挑戦し地道に粘り強く努力する力を育てていきたいと考えています。

子供たちが、自分の持っている力を思う存分発揮して、自分たちの力で「楽しい河城小学校」を創って行ってほしいという思いを込め、今年度の重点目標を「やってみよう ～自分から 自分たちで～」としました。

始業式では子供たちに次のように話をしました。

なりたい自分を目指して伸びていきましょう。友達のなりたい自分を応援して、一緒に伸びていきましょう。こんなクラスだったらいいなというクラス、こんな学校だったらいいなという河城小を、自分たちの力で創りあげましょう。

そのために、まずは自分からやってみよう。

失敗を恐れずに、やってみることに意味があります。ちょっとずつ進んでいけば大丈夫です。みんなには仲間がいます。みんなが力を合わせれば大きなことができます。「やってみよう」の気持ちで、自分から、自分たちで、そして、みんなの力で「みんなが楽しい河城小学校」をつくっていきましょう。

4月5日から7月19日までの1輝は「自分からつくろう 自分たちでつくろう」のステージです。新しい学年がスタートした今、1年後にどんな自分になりたいかを思い描き、そのために何をするかを具体的に考え、1年間の目標をたてます。そして目指す学級の姿をみんな考え、そのために自分のできることを実行に移していきます。自分たちの学級のことを自分たちで決め、学級の基盤をつくっていきます。

子供たちそれぞれの思いを「めあて・振り返りシート」に書き込み、教室前に掲示します。学校にお越しの際にはぜひ御覧ください。

優しさと共にたくましさも兼ね備えた河城小のかがやく子の育成に、職員一同、精一杯努めてまいります。本年度も変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

(校長 板倉 真里)